



# 亜熱帯 美ツクリ レンズ



やんばるに暮らす  
生き物たちの素顔  
写真と文 久高将和

久高 将和(くだかまさかず)プロフィール  
1951年沖縄県東村生まれ 国頭村在住 写真家・環境カウンセラー やんばるの自然や生活文化を地元ならではの視点で撮影し紹介する傍ら、「やんばる国頭塾」を主宰し、やんばるの地に育まれた生活文化に学ぶツーリズムの確立を目指し精力的に活動している。

## アジサシ

梅雨の雲間から時折のぞくまぶしい入道雲。夏の兆しを感じる5月中旬にもなると、暑い国を旅するためにクールビズを装ったかのようなアジサシ類が、遠くはオーストラリアあたりから海原を渡り沖縄へ顔を見せる。

紺べきの海原に映える雲間を飛び交いキビナゴなどの小魚を追う彼らは、それらを餌としているカツオ類、さらにそれを追うカジキなどの巨大魚を示す指標にもなり、ウミンチュの漁の助けになっている。